



いつでもくらし最優先

日本共産党

5人がやります



3つの負担軽減

1

国保・介護・後期高齢者

保険料
引き下げ



この10年でいずれも約2割値上げ。日本共産党だけが反対。

2

小学校と同時に中学校も

給食
無償化



1万人の署名などで来春から小学校が無償化に。中学でも！

3

大山崎では5万4千円も

水道料金
減額



コロナ禍以降、全国各地で実施。大山崎町は1世帯5万4千円も。

(口径20mm世帯)

争点は「市民の負担軽減」

日本共産党	市政の争点	自民・公明・立民・国民・維新
○ 賛成	給食費の値上げストップ 請願	✕ 反対
✕ 反対	国保・介護・後期高齢者 保険料の引き上げ	○ 賛成
	下水道料金の値上げ	
	100億円の庁舎等建設	

長岡京市は財政力が あります



この4年間でも、みなさんと一緒に
実現できました

- 学校体育館へのエアコン設置
- 高校生の入院費無料化
- バスの通学定期・高齢者パスの補助
- 生理用品の配布、一部トイレへの設置
- 中小企業振興基本条例 など



消費税5%に!
大軍拡・医療改悪はNO!
とめよう気候危機!

日本共産党

日本共産党

ひとりもみすてない 長岡京へ

自民党政治をのりこえる。

28歳で初当選させていただき、早くも20年です。
毎週の駅前宣伝で、声をかけてくれた子はもう青年に。

寄せられたご相談がうまく解決に向かい、
今後の生活に見通しが持てた人の明るい顔に、
「政治は人生を左右する」と痛感します。

議会で追及し、選挙でさんざん争点にして、
18億円の「道の駅」を撤回に追い込んだり、
保護者の輪に入れてもらって1万人の署名を集め
中学校給食が実現したり、
「動けば変わる」とも実感してきました。

しかし今、自民党政治の矛盾が深まり、
生活しづらさ、生きづらさは増えています。
ブレずにいつでも「くらし最優先」で
これからも働かせてください。

L I F E
誰もがそのくらし(人生)を
思いきり生きられる社会へ!

20th
おかげさまで20年

小原明大

市議会議員 おはらあきひろ



議員団公式
LINE
小原がお返事します

プロフィール 1977 (昭和52) 年3月生まれ。若草幼稚園、長九小、長三中、西乙訓高、神戸大学卒業。長岡京市役所勤務をへて市議5期。副議長など歴任。2011年市長選・府議選で次点。長岡京の地下水を考える会事務局長。公的扶助研究会・ひまわりの保育をそだてる会・朝鮮学校と民族教育の発展をめざす会会滋など会員。LGBT自治体議員連盟に参加。趣味は合唱とホットヨガ(行けてない)。久貝3丁目在住。

自宅 久貝3丁目4-5 302号 TEL.957-7142 ✉ ohara1095@gmail.com

おっはー長岡京

議員団
公式LINE



長岡京民報 2025年9月号 発行: 日本共産党乙訓地区委員会
長岡京市長岡2丁目6-10 TEL.954-5166
日本共産党乙訓地区委員会は上記の見解を発表しました

どの年代でも、どの性でも、障がいがあっても、家族をケアしていても、ひとりでも、マイノリティでも、様々な事情があっても **くらしやすい長岡京に**



小原明大の20年

「氷河期世代」 同世代と声をあげ前進

駅前や大企業近辺でビラを配り、寄せられた相談に取り組んできました。「2カ月給料出てない」「突然雇用打ち切り」などの声を、労働組合と協力して解決しました。06年には1万2千人の「子ども医療費無料化」署名に参加、今は高校生の入院費まで拡大。14年、「中学校給食」署名では1万人を超え、実現。24年の「給食無償化」署名も1万人を超え、来春から小学校は無償に。忙しいけれど大きなパワーがある、同世代と今後力を合わせます。



中学校給食を求める1万人の署名の前に



「派遣切りは断れる！」駅前前で宣伝

地域の願いを ねばり強く

せまい馬場橋は、1千人の署名が府を動かし、歩道拡幅が実施へ。大門橋～神足橋の土手も、一日じゅう立って署名を集めるなどで、防犯灯がつけました。東部バス、長四小前歩道拡幅が実現。水害避難対策は、企業との避難所協定や、巡り原地域の防災施設計画など前進中。大門橋から長八小への安全対策など、さらに取り組みます。



馬場橋拡幅の設計予算5千万つく



東部バス



大門橋～神足橋土手に12基の防犯灯つく



ガラシャ祭では毎年地下水をPR



水害避難対策



ここに歩道をつくりたい！

市民の良識を示す議会を

第40代副議長、党議員団長をつとめてきました。全国で初の「同性婚」の意見書採択(全会一致)に貢献。イスラエルのガザ攻撃の中止を求める決議や、「沖縄戦の歴史に真摯に向き合う決議」などを提案・可決してきました。



教育長に熱中症対策を申し入れ



副議長としてあいさつ

若者の声を 聞きつづけて

駅前で、働く若者2百人の声を聞き、市長に届け、シンポジウム。高校生百人に平和の思いを聞き、高校生と国会議員とのトークを実施。最近の若者の多くは、奨学金を数百万円借りて社会に出ており、学費ゼロ・奨学金返済支援は待ったなしです。



高校生×国会議員のトーク



街頭でシールアンケート

ひとりもみすてない長岡京を

33歳のとき市長選でかかげたこのフレーズに、常に立ち返りたいと思います。東北や能登半島にはそれぞれ3度訪ね、現地の方々の声を伺ってきました。「生理の貧困」をとりあげ、生理用品の配布、トイレ設置も一部スタート。自らLGBT当事者と公表し、当事者からの相談にも取り組みました。



超党派議員でパレード



能登の仮設住宅を訪ね声を聞く



保育所申し込み者の声を聞く



BrackLivesMatter デモ

車いすの方の声を聞き道路改善



撮影 | 長島可純

18億円の「道の駅」を撤回させました！

阪神・淡路大震災の年に神戸大学に入学。被災学生の学費減免を求めて運動していた先輩に出会ったのが、日本共産党に入ったきっかけです。

おっはーはこんな人



議会傍聴のベテラン Aさん

市長も小原くんの質問のときは楽しそう。ただ強い言葉でなく、リスペクトをもちつつ冷静に的を射たことを言う、議会に欠かせない人だと思うよ。



勝竜寺在住 寺内和子さん

溝の泥が私道でとってもらえず、小原さんが一緒にスコップ持ってやってくれました。



B型作業所勤務 古賀有沙さん

おっはーは「他者に敬意を払って尊重できる人」。気分の波が強い特性のある私も助けられました。

小原明大の スタンス



- 市民一人ひとりのくらしの支援こそが、市の最大の魅力と考えます。
- 「人口減少時代」を見すえて、巨額の開発は慎重に議論します。
- 市だけでなく国を動かす運動を進め、財源確保・政策実現します。

● ケアと育ちとくらしを両立

介護家族の支援、「不登校」支援、発達支援、障がい児のサービス利用日数増など

● 「ずっと元気で」に応える

補聴器・エアコン購入助成、診療所の増設、バス充実やタクシーチケット支給など

● 若者や働く世代を応援

通学費補助、奨学金返済支援、自習スペース、若者や非正規雇用者への家賃補助など

● しなやかに生きぬく教育

メディアリテラシーや人権・平和・民主主義を大切に、自己肯定感を育てよう教育

● おいしい地下水を未来へ

PFASの対策前進、新浄水場の建設
水道広域化・民営化には反対